

地学 2 - 0 3 (中学校用)

- 1 標高約300m以下のなだらかな山とその間の狭い平野からなる地域
- 標高1000～1200mほどの山頂が連なる山地（最も標高が高い地域）
- 倉敷・岡山両市にまたがり，瀬戸内海に接する平野
- 縄文時代の海面上昇で海となった地域
- 標高300～600mほどの高原状の山地からなる地域
- 中国山地
- 吉備高原
- 瀬戸内丘陵
- 岡山平野
- 瀬戸内海
-

地学 2 - 0 3 (中学校用)

- 1 植物が減少する要因はさまざまで，多くの要因が複合的に作用していることもあります。環境省版レッドデータブックでは，開発行為，園芸採取，自然遷移が減少の3大要因とされています。展示物から解答を得られるのは次のとおりです。

【開発行為】オグラセンノウ，ヤチシャジン，ミコシギク，ゲンカイツツジ，イワヤクシソウ，タコノアシ，サクラソウ，イヌノフグリ

【園芸採取】オグラセンノウ，ゲンカイツツジ，サクラソウ

【自然遷移】ヤチシャジン，ゲンカイツツジ，タコノアシ，サクラソウ，イヌノフグリ

- 2 展示をしている植物はほんの一例に過ぎませんが次のとおりです。

【減っている植物】

オグラセンノウ，ヤチシャジン，ミコシギク，ゲンカイツツジ，イワヤクシソウ，タコノアシ，サクラソウ，イヌノフグリ，ツメレンゲ

【増えている植物】

ムシトリナデシコ，ノハラナデシコ，コモチナデシコ，サボンソウ，ヒメジョオン，オオキンケイギク，マンテマ，ベニバナセンブリ，オランダミミナグサ，オオイヌノフグリ，シロツメクサ，ヨウシュヤマゴボウ，コニシキソウ

昆虫 2 - 0 3 (中学校用)

1 ゲンゴロウ

(ほかに多数正解あり。ほかの解答例は第2展示室の「自然は変わる」,
「岡山県で減っているいきものと増えているいきもの」をご覧ください)

2 アオマツムシ

(ほかに多数正解あり。ほかの解答例は第2展示室の「自然は変わる」,
「岡山県で減っているいきものと増えているいきもの」をご覧ください)

動物 2 - 0 3 (中学校用)

1 ドジョウの仲間

アユモドキは幼い時期にはしま模様がはっきりしていますが、十分に成長するとそれが消え、体型がアユに似てきます。これがアユモドキの名前の由来です。口のまわりにはドジョウ同様にひげがあります。

2 穴、石組み護岸のすき間 (表現は自由)

アユモドキは石や石組み護岸のすき間をよく利用します(穴^{けっ}
居性^{きょせい}といいます)。

3 産卵に利用する、梅雨ころ増水によってできた水たまりの代わり (表現は自由)

アユモドキは梅雨ころ増水によってできた水たまりで産卵します。水田はその代替地と考えられます。